

企画展『土岐市の古窯』

— 定林寺古窯跡群 —

『窯詰めにみる窯場の特徴』

前号では、製品の違いについて紹介しましたが、今回は窯道具の違いについて説明します。

やきものを焼成する際には、窯内での降灰やゴミの付着を防ぐため専用の容器（匣鉢、エンゴロ）に入れ、焼成していました。この時、製品同士の溶着を防ぐために用いたのが円錐ピンなどの窯道具です。

窯道具の様子は窯場によって異なっています。定林寺西洞2・3号窯では、粘土塊の先端を尖らせた円錐ピンを多用します。一方、元屋敷窯では、円錐ピンの他に足付板トチや三又トチなど、さまざまな窯道具を用いています。足付板トチとは円盤状の板に3〜5箇所のピンを貼付したもので、ピンの長いものは織部の向付類の焼成に使用しました。三又トチはピンの下半部を三又にし、その先端を尖らせたもので、大鉢や大鉢の蓋を焼成する際に用いました。これらについて、定林寺西洞2・3号窯では、碗や皿などの簡素な器形で器種も少ない一方、茶陶類を主体に生産した元屋敷窯では、向付など器形が複雑かつ多器種であることから、重ね焼きの際に使用する窯道具が多様化したと考えられます。

5月28日(日)まで開催
第1展示室では、重要文化財公開『元屋敷陶器窯跡出土品展』を開催中です。



円錐ピンを用いた皿の重ね焼き
(定林寺西洞2・3号窯)



三又トチ・足付板トチ (元屋敷窯)

プライベートガイド

文化プラザ ☎ 55 5711



文化プラザ

4月8日(土)発売開始

「片岡愛之助トークショー」

日時 6月3日(土)14:30開演 (14:00開場)

場所 サンホール

入場料 2,500円 一人につき4枚まで

※未就学児は入場できません。



[文化プラザ] 窓口販売/9:00~20:30

電話受付/9:00~20:30

(発売初日は12:00~)

※窓口販売で完売の場合、電話受付はありません。

[チケットぴあ] ☎0570-02-9999 Pコード:635-092

[ローソンチケット] ☎0570-084-004 Lコード:43207

※チケットぴあ、ローソンチケットともに、発売初日は10:00~

